



(水にたわむれる子供たち)



しでがの通信

第 76 号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

として保存して下さい

水しぶきをあげて

目次

水しぶきをあげて.....	1
学級懇談会.....	2
こまやかな健康管理を.....	4
夏休みの健康について.....	4
夏休みの過ごし方.....	5
校庭樹木消毒.....	6
羽津北小だより.....	6

六月二十日、ぼく達が手や足をのぼそうと楽しみに待っていたのにうらめしい雨、残念、折角泳法披露をしようと思っていたカッパ連達、天を仰いでため息ばかり。

六月二十二日、曇天で時々霧雨の中、賑やかな歓声を上げ、六年四年を先頭に待ちにまったプール開きが行なわれました。水温二十二度、まだまだ肌に冷たく感じる中、プールへと子供達は飛びこんで行きました。各学年二、三組が合同で子供達には窮屈な思いをさせていますが、それも今年で終了です。でもその中での楽しみ方を子供達は知っているようです。

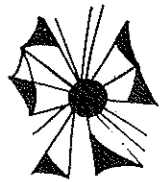
各御家庭におかれては、お子様の健康に充分御注意戴きたく思っています。一人でも多くの子供達が水に慣れて少しでも楽しく泳げる様になればと、亦強い身体づくり

にも充分な効果が得られればと、期待しています。



(ワァーまだ冷めたいわノ)

学級懇談会



一年生

友達との遊び方

- 一、学習参観
参観後の学級懇談会は、学年別に時間を分けてほしい。
- 一、小遣い(おやつ)
小遣いは、一日五十円程度与えていると言う家庭が多い。
- 一、家に帰ってから
少しでも机に向う習慣をつけさせる様にしよう。
- 一、遊びについて
宿題、時間割をしてから遊びに出すようにする。出る時は行き先を言ってから出す。帰宅時間は、五時頃に定める。定めた時間には相手の家庭でも注意してほしい。
- 一、給食
給食の始まった当初は偏食があったがだんだん慣れて殆んどの子供が食べられる様になったがまだ時間がかかる様である。
- 一、学年行事の決定
十月十四日(水曜日)一時半より運動場(雨天は体育館)でゲー

二年生

しつけについて

- 一、躾は自然に子供から出るものであり、毎日の習慣がそのまま浮きぼりにされてくる。だから大人見本を見せる行動が大切である。
- 一、又、言わなければいけない所は、けじめをつけてきちんと教える。
- 一、「小遣いについて」
低学年の小遣いは、もたせない方が望ましいが、与えた場合、使い道を知っておく必要がある。
- 一、「テレビの見せ方」
自由に見る事を規制するよりも、大人が見て子供にとって良いか悪いか、学ばるところがあったかどうか、どんなつまらない内容でも、子供にとっては大事なことである。まず内容について親子の話し合いが必要かと思う。

- 「最低のしつけ」
あいさつをする。
- ハイ、イエエがいえること。
- はきものを揃える。
- 整理、整頓、出したら元にもどす。
- 「子供の持ち物」
親が判断してなるべく簡素で実用的なものにする。又幼児から低学年の間に辛抱させる事も、ある程度必要かと思う。
- 先生の方からも、他人の子供でも叱れる勇氣を持つて欲しい、という御意見がありました。
- 低学年の間にしっかりとしつけをおき、過保護にならぬよう、父親共々、充分目を向けたいものである。
- 最後にしつけとは、大人の毎日の姿。行動です、本當にむずかしいけれど、大切な事だと思う。

三年生

子を持つ親の悩み

- 一、今回の学級懇談会は「子を持つ親の悩み」というテーマで話し合われました。主に出席した意見は次のようなものでした。
- ・子供の長所を見つけて、それを伸ばしてやりたい。
- ・がまん出来る子に育てたい。

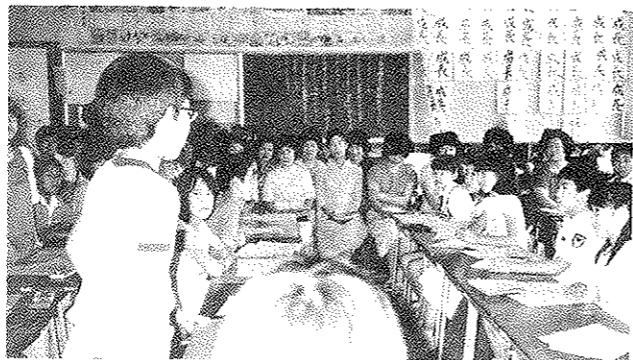
四年生

自分の子供は どうすればよいか

- 一、こづかいの与え方
(一組)
平均すると月に四〇〇円から五〇〇円が与えられている。しかし全然与えてない人もあった。

学級のあたたかみ

- 一、先生 ありがとう。これが親の偽らざる気持です。夜遅くまで懇談会の資料作りや、子供達への心くばり、すべてに愛情が見受けられ、各学級の心を越える出席に学級委員共々感謝しております。
- 二、子供達の素直さに話も活発で、各学級とも、もっと時間が欲しい。次回は学級活動へと心がとんで、計画されています。



(お母さん、タジタジ)

- 一、身近な、家庭学習の時間 起床時間寝る時間 睡眠時間 テレビを見る時間 友達や先生関係 遊び等、活発に発言しました。
- 二、子供は頭では十分理解しているが行動になると表されないのが常時行動には厳しく対処するよう話し合い、親子の気持ちの通じ合いを深めました。

三組

- 一、お父さんへ、厳しすぎる。病氣はしないで。旅行に行きたい。お母さんへ、体を大切に。話しをしたい。
- 二、両親へ、小遣いふやして。(趣味やマンガに使う)勉強しなさいと言わないで。子供が司会をしました。

四組

- 一、小遣いあげて同じことばかり言うな/勉強なせすの/勉強は役に立ってる/子供達の質問、親も負けずに愛情ある発言。大きな笑い声、大いに満足。

五組

- 一、修学旅行の思い出、旅館で夜遅くまで話しをしたり、きわいだり、テレビやゲームの取り合いが最高。買物が自由で嬉しかった。親は、夜、家へ電話をかけてきた。お金の使い方が上手だ。病氣や車酔いがない等です。

- ム(ボール遊び、平均台を使ったゲーム)クラス対抗、フォークダンスを先生と親子参加で行います。全員スポーツの出来る服装で参加を御願致します。

- (二組)
月に五〇〇円、六〇〇円、千円が与えられている、与えてない人もあった。
- (三組)
月に五〇〇円程度与えている人と、必要に応じて与えている人が、半々程度でした。
- (四組)
月に五〇〇円、又は千円の人があった。その他その都度、五十円百円程度与えている人もいた。
- (五組)
月に三〇〇円から千円の間で与えられている。又与えないが、お菓子等現物で与えている人もいた。
- (六組)
必要に応じて与えている人が多かった。
- 二、親子の交流について
まとめて報告します。一、諸に風呂に入る、キャッチボールをする、野球観戦をする。一、諸に買い物に出掛ける、又家庭では、子供に役割をもたせるといふ意見もありました。

五年生

親のすべき事

すべきでない事

- 一、各クラスともたくさんの方が出席され熱心に話し合いが持たれ有意義に過ごして頂いた様です。

- 一、忘れもの
どこまで親が世話をやくべきか親がいちいち口出しするのはなく、自分で処理出来る様にしていく。
- 一、テスト、プリント等について
子供が親に渡さなくなったり見せなくなったりする。
- 一、悪いテストでも、子供が見せられる様な親になってほしい。
- 一、ほめる時、叱る時、親の気分で行動しない様、親の姿勢が大事である。
- 一、小遣い
家庭によって金額は違うけれど使い道を把握する。
- 一、ながら勉強の是非
テレビを見ながら、食事をしながらの勉強については、食事作法時間を定めてテレビを見せるなどの工夫が必要である。
- 一、日記帳をつけてほしい
- 一、言葉づかい、イタヅラ電話等ひどい時は、その場で注意をする。
- 一、名ふだの件
夏服は、名ふだを何度もつけ変えるとかポコポコに穴があき、外出着にならなくなるので何か方法はないものでしょうか?
- 一、思いやりのある子の育て方
「ありがとう」「おききに」「の言葉が素直に言える様、家庭のしつけが望まれる。

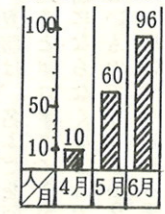
こまやかな健康管理を

保 健 室

本年度の人事異動により本校にお世話になりました。早くも三カ月が過ぎようとしております。前任校の十倍以上の児童数の中で、今、保健室では、関係の方々協力を得まして、定期健康診断も終わり、整理の段階に入っております。

五月一日からは、黒崎豊美養護教諭をお迎えして、二人で大事なお子さまの健康面をあげからせていただいておりますが、毎日のように感じるものが一つあります。それは、登校前にご家庭でお子さまの健康管理をもう少し濃やかに見つけていただきたいと思うことです。始業と同時に、頭痛、腹痛を訴える子どもたちの中には、発熱もあり、朝食もとらずに出ており、担任の先生から連絡をとってまいりますと、家は留守といったケースが多くあります。共働きの家庭が増えている中で留守は仕方ないことと思えますが、病気が、重くならないうちに休養するのが一番です。特に下表のとおり今月に入って、風疹による欠席者が増加の傾向にありますので、今後とも十分ご注意ください。なお季節が食欲のない時ですが、脳

風疹による欠席者
(56.4-56.6.20)



が活動を開始しはじめ、起床後二時間はかかるといわれておりますので、八時半の始業です。少なくとも六時、六時半には起床し、洗顔、朝食、排便をすませてから登校するという生活のリズムを時々修正してやりながら、自立の方向へ向けてやっていただきたいと思います。

それから、四月の歯科検診で、はみがきの習慣化ができていないお子さんが多かったため、毎月、保健委員会の手ではみがきしらべを実施することになりました。子どもたちは、むし歯の予防は、はみがきとすぐ答えられるぐらい知識としては知っていても、なかなか実践に結びつかないのが現状のようです。習慣化するには、家族の方々が示されることが、何よりもよいお手本だろうと思えますのでご協力をお願い致します。保健室から、体のほんの一部である歯を通し、自分の体を大事にし、他人も大事にできる子の健やかな成長を願っております。いろいろとご意見をお聞かせください。

夏休みの健康について

校医 山下 剛

伊勢湾の波頭は夏休みの少年を呼び健康を呼ぶ。私の少年時代は戦時一色でその様な楽しい思い出はない。B二九に怯え、ゆっくり食事さえする暇もなかった。その様に考えると今の少年達は幸福の絶頂であると思う。だが少年達が健康に育つてゆくのは、将に今ではなかるうか。それ

私は今一番大事な事は、即ち健康であると思う。其の健康を如何に管理するかが一番大切なことと思う。故に健康管理に就いて、夏休み中の少年達の有り方を思うまま書いて見よう。

現在の少年は余り幸福すぎる。其の事を少年達は知らない。一般的ではないが、親の恩、師の恩、社会の恩である。自分一人で生まれて来て、自分一人で教育を付けて来たと思っている。社会の恩恵も自分に対する当然の事のように思い、だから自分の身体も自分だけのものとして、粗末にする。余談に渡ったが少年達の夏休み中の健康に就いて、左記の事を申し上げたい。

まず第一に朝早く起きる事である。そして家の回りを掃除してからラジオ体操に出かけなさい。勿論、父母、祖父母に、お早うございますと挨拶するのは当然である。朝食後涼しい間に勉強しなさい。人のためにするのはなく、皆自分のためである。

昼間、間食は止めなさい。そして良い友達を持ちなさい。テレビの視聴過多はいけません。父又母に時間を定めて貰いなさい。夜は早く寝なさい。

其の他自分の好みに合ったスポーツを持ちなさい。

スポーツは上手になる事も必要乍ら、スポーツを通じて良い友を作り、礼を知り、自分を知らなさい。

かげろうのように時間を無駄にしないで、自分の健康を知り、其の範囲で悔いのない夏休みを送りなさい。夏休みの初めに健康診断を受け、夏休みの終りに健康診断を受けて、自分を知る事も大切でしょう。礼儀を中心にした夏休みを送れば健康も智育も、徳育も、備わって、晴々しい二期を迎える事が出来るでしょう。

少年易老学難成一寸光陰不可輕末覚池塘春草夢階前梧葉既秋声

日本ほど「四季の移り変わり」のはっきりと現われる国は世界に類がないと言われています。そこに日本の自然の美しさがあると思えます。春は花、夏は海、秋の虫の音、冬の雪山、それぞれの季節のはじまりに心あらたまり、夢を見、希望にもえて充実した楽しい生活を送ろうとしています。

子供たちにとっても四季のうち一番楽しい季節は夏です。夏休みです。学校でも学習に、体力づくりに、生活全般にいろいろの「きまり」を作ったり、指導も充分し学校生活から開放し、一時学校から家庭へお返しします。「夏休み中どう過ごしたらよいか」ご家庭でもいろいろとお考えになり、気を配られている事と思えますが、要は子供たちが「有意義に夏休みを送る」「送らせる」事だと考えます。

したがって夏休みは学習のみに重点を置くのではなく、遊びに、子供会行事に、水泳に等、適当におりませて楽しくゆとりある、しかも充実した計画をもって、その中から自主性、創造性、体力づくり家庭生活の楽しさを味わわせ、社会の一員としてのあり方を身につけさせる事が大切です。学校としても次のように考えますのでよろしくご指導をお願いいたします。

- ◎生活面―きまりある正しい生活。
○ルーズになり勝ちな生活に陥らないためにも、お子さんを交えて家族で無理のない計画をたてる。
- きめられた計画はよく守り、節度ある生活をさせる。
- 夏休みのきまり、児童会の約束等をきちんと守る。
- ◎学習面―
○宿題を含め、学校で出来ない学習課題をきめ、しかも欲ばらず余裕のある学習をさせる。

夏休みの過ごし方

教頭 古市 祐 治

- ◎自然観察、物の製作、調査研究等もこの機会に、
- ◎保健衛生面―体力づくり
○プール開放日には進んで参加し身体をきたえる。
- 健康診断で治療するところがあつた人は、この長い期間に治療する。
- ◎安全面―交通安全等
○自転車に乗っても交通ルールをよく守り事故のないように。
- 危険箇所へ近寄らない。危険な遊びはしない。
- 外出には行先、目的、同伴者

- 帰宅時間を必ず告げ、また守らせる。
- ※特に遊びについて
- ◎花火
夏休み中朝登校しますと「花火のもえがら」が運動場のあちこちに落ちています。跡始末をして帰らないようです。花火も夏の楽しい遊びの一つですが、それによる火災や負傷もよくあります。そこで次の事項をよく守って楽しく遊んでください。
- 1 注意書きをよく読む。
- 2 必ず大人と一緒にする。
- 3 人に向けたり、燃えやすい物の附近ではしない。
- 4 風の強い日は、火花が散るのではない。
- 5 一度に沢山の火花に火をつけない。
- 6 吹出火花、打上火花等は決して上からのぞかない。
- 7 途中で火が消えても手でもたない。
- 8 水バケツ等を用意し跡始末を確実にする。
- 9 火花をポケットなどに入れて

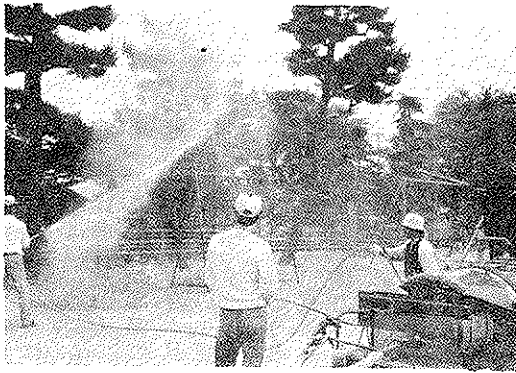
- おかない
- 10 花火をほぐして、火薬を取り出して遊ばない。
- 11 人の迷惑(騒音等)になるような花火はしない。
- ◎水遊び等
最近子供たちの中にも釣ブームがおしよせています。どの川も、海辺もたくさん釣りにぎやかです。ところが、つい暑い時期なので釣りをやめて川へ入ったり海に入ったりします。川や海は危険がいっぱいあります。よく新聞等で水の事故が報道されますが、ほとんど子供同志で行った時が多いようです。子供同志で行ったり危険な川や海は行かないように必ず大人の人と一緒に行って下さい。
- 学校にはきれいなプールがあります。指導の人も、監視の人もいます。せいぜい利用してください。
- ◎最近非行の増加と低年令化が言われています。非行は休み明けに多発します。原因は夏休みのルーズな生活が新しい学期の生活について行けなくなるからです。ご家庭でもその点充分留意され有意義な夏休みを送られるようご指導ください。



校庭樹木消毒

環境整備部

去る六月十日、校内樹木に猛威をふるう毛虫の害を防ぐために、薬剤散布を致しました。当日は、羽津農協より動力噴霧機をお借りして、午後より半日で作業を終える事が出来ました。本部役員方には、お忙しい中御協力頂き厚くお礼申し上げます。羽津小学校の名木である松、桜、楓などの病虫害予防を平素から心がけ、緑の美しい自然環境を大切にすべきだと思います。



(マイッタか 幼虫くん)

八月二十三日に例年行われるPTA全員による奉仕作業を予定しております。その時には多数の御協力をお願い致します。

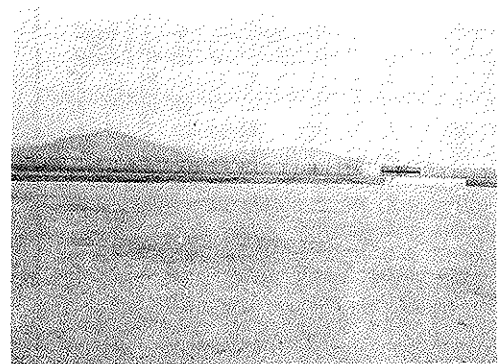
羽津北小学校だより

六月七日、羽津北小学校正門東側に、小井久七氏より御寄贈の松の木約六十本を、役員の手で移植、仮植を行いました。堂々たる姿には、幾数十年の年月が待たれます。これからの羽津北小学校を末永く見守って、伝統ある学校の歴史を伝承していってくださる様、願いをこめ、役員交代で、夏季の水やりにも励んでおります。

(元気に育ってね！)



(北小整地の全景)



町別懇談会スタート

六月の常任会で決定された町別懇談会が、いかるが町を皮切りに七月八日、夜、開かれました。いかるが町父兄五十人と校長、教頭、町担当先生、本部役員との間で熱心な討議が行われました。前進ある意見の交換に今後の地域活動、親睦の窓口になればと期待されます。

他町でも、懇談会が計画されていますので、会員の皆様の多くの出席を御願ひし、地域としての活発な御意見、御討議を進めていただくたく思います。

次号にて各町の話し合い内容を掲載致します。

で
す
く
さい
ど

- 暑中の見舞い申し上げます。
- 待ちに待った夏休みもすぐ目の前。お家の方も大変だけれどがんばって下さい。
- 海や山へ出かけて自然にふれ、観察心を養いましょう。
- 新しい試み、六年生の親子懇談会が好評のため、他の学年も刺激され、考えさせられました。
- 原稿書き、たった二枚で夜も眠れず——某学年代表
- 苦勞した原稿書き、原稿集め、割りつけもやっとこつがわかってきました。今回は一、二年生の文化部員による編集です。初めての新聞作りに熟読するようになりました。
- 朝顔 ひまわり へちまにひょうたん 夕涼み 夜は子供と線香花火

